

你好

中国語を学ぶ会
平成16年2月発行 第20号
連絡先 Tel 33-3177
神 山 Fax 32-5594

春节も過ぎてもうすぐ春が・・・

新春雑感

今年の正月はおだやかな天気恵まれ、例年の寒さもとこへやら、暖かな新年となりました。

中国語を学ぶ会の皆さまもお健やかに新しい平成十六年の新春をお迎えになられたことと思います。

しかし今年も現役の人たちにとっては相変わらず厳しい状態が続く、一方年金生活者にとってもこれから逆風が吹きそいで前途不安な新年でもありません。

友人たちからの年賀状を一枚一枚めぐりながら過ぎし日々をなつかしく思い出しました。年々、体調を崩しているという便りが増えてくるのは寂しいことです。そこそこ元気でいられる幸せを感じます。

恒例の箱根駅伝を応援に行きました。孫たちもパパの学校頑張れと小さな手で懸命に旗を振って応援、二位に入りました。一秒でも早くたすきを渡そうと歯を食いしばりひた走るランナーの表情はさわやかでした。

朝から酒を飲みテレビに興じるささやかな幸せを噛み締めながら未だに混乱の続くなかで生活するイラクの人たち、地震で大きな被害を受けたイランの人たちを思うと胸が痛みます。

一月で満三歳を迎えた孫娘がいます。大人たちとの日常会話はほぼ出来るようになりました。どこで覚えたの？と言いたくなるような難しい言葉も話すことも。彼女は話して始めてからたかだか二年弱、私の中国語はすでに十年超、やんなつちやうね。

今年の春节は一月の二十二日。例年より早めです。中国では春节まで一ヶ月くらいになると、故郷を離れて仕事をしたる進学している人たちが続々と帰省を始めるのだそうです。この時期は「春运時期」と呼ばれて鉄道、道路、航空とも一年で最も混雑する時期になります。

中国の剪紙（切り紙細工）



初詣に行きましたか。特に神や仏を信じているわけでもないのにお賽銭をあげ、手を合わせたくなるのが不思議ですね。年末には今村さんのお陰で楽しい忘年会に参加できて旧年の悪しきを忘れ、正月には八幡宮に詣でて万事如意を祈願する。これでも今年もいい年になりそうだ。

どうやら、やっと2月号を発行することができました。今回も寄稿が少なく四苦八苦。いろんな人の文があつてこそ面白い紙面ができあがります。短くてもいい、日本語だけでもいい、気楽に書いてください。次回の発行は5月。寄稿は4月の中ごろまでお願いします。すぐに準備してください。

中国の鉄道部は今年の春运時期を一月七日から二月十五日と定め運行計画を発表し四百本の臨時列車を運行することになった。期間中は列車の運賃を十五%値上げするという。それでも切符が買えず駅頭には切符を求めて徹夜する光景が風物詩になつていそう。

今年こそはもっと話せるようになりたい。北京へ行った星期二班の同学は切実に感じたことと思います。間もなく新学期、また新しい仲間を迎えることになりました。班の編成などでご協力をいただかなければなりません。よろしくお願いします。気楽に楽しくやりましょう。

快拳！星期二班の同学が北京へ冒険旅行

火曜クラスの中国語をはじめて1年半のメンバーが北京へ冒険旅行をしてしまいました。

季先生やクラスの皆さんのご協力で北京特別授業も頂き、心配と不安一杯で出発。

そして言葉に悪戦苦闘、いろいろなトラブルを思い出に帰国。

今、もっとも中国語の勉強をしなければならない事を思い知ると共に2003年記憶に残る楽しい旅行でした。

「我们的北京日记」 星期二班 野中 猛

十二月六,七,八号,三天二夜。我们六个人一起去北京看看。北京的天气很好。气温零度左右,不过没刮风,没下雪,不太冷。

第一天 到了北京以后坐地铁去天安门广场看了降中华人民共和国旗仪式之后吃晚饭然后去看了京剧。

第二天 去了天安门、故宫、景山公园、王府井大街和北京百货大楼。

第三天 上午去琉璃厂买了一本太极拳书和一袋茉莉花茶。下午的飞机回国。

大家都非常高兴。

我还想去北京,所以我要努力学习汉语。 谢谢。

同行メンバー 飯田夫妻・福田さん・小橋さん・工藤さんと野中さん



西安 へ初めて行ったのは15年前の1989年のことだった。兵馬俑坑博物館へはバスを降りてから舗装の無いじやり道をかなり歩かされた記憶がある。

その後もツアーコースの都合で二度ほど訪れたことがあるが、行くたびに近代化され、今では大きな観光バス用の駐車場が作られ傍らには立派な土産物店や食堂が建ち並んでいる。

少々不便でも古都には古都の佇まいを残してもらいたいものである。

上海 に行くとき必ず観光ルートに組み込まれているのが

豫園である。豫園には入り込んだ街並みに食べ物屋や衣服店など大小さまざまな店が雑然と軒を並べ、思わずパスポートの存在を確かめたくくなるような人込みの中を歩く楽しみがあったものだ。

ところが聞くところによると今では道路幅も広くなり舗装もされて綺麗な街に生まれ変わってしまったという。もちろん小さな店舗は跡形もなく、カフェやクレープ屋などのおしゃれな店によって変わってしまった。

近代化も結構だが、そんな街なら東京や横浜にはいくらでもあるだろう。

日本では見ることのできない歴史的遺産や美しい自然などを求めてやってくる観光客を裏切らないでほしいものだ。

中国の成語に「瞎子摸象」(盲人摸象とも言う)というのがあります。日本語では「群盲象を評す」と訳されていますが、盲人が自分が触ったところだけで象を表現したということから、局部にとらわれて全体像を判断する力に欠けているという意味に使われるようです。

中国は大きな国です。北京も中国です、上海も中国です。しかし中国が北京や上海ではないことも忘れてはならないことだと思います。

(右欄の下に続きます)

変貌する中国の観光地

北京 では4年後に迫ったオリンピックに備えて街の大改造が行われている。

高速道路が整備され、道幅を広げ新しい高層ビルが林立している。

そして、狭い路地、灰色のレンガで造られた歴史と伝統のある胡同が次々と壊されて近代ビルに建て替えられようとしている。

訪れる観光客に最も嫌われている汚いトイレも市街地では姿を消しつつあり、例えば王府井大街では200メートルごとに新しい水洗の公衆トイレが完成したと聞いている。これは喜ばしいことだ。

西部開発 多数の観光客が訪れる大都市では近代化が進み、特に上海などの発展ぶりはめざましいという。

しかし開発の遅れた四川、甘粛、青海、西藏などの西部地域では政府の肝いりで開発が進められているところだ。

平成13年に四川省の成都から北へ上り九寨溝・黄龍などを見てきました。まさに秘境という表現がぴったりのところでした。ここに住む農民達は急な山肌を開墾して小石混じりの畠で貧弱な野菜を栽培したりして生計を立てているようでした。途中道端の畠で直径1センチばかりの小さなサクラボを老婆と嫁、中学生くらいの息子の三人で収穫している所に出会いました。1斤(500グラム)1.5円で分けてもらいましたが老婆の話す言葉はガイドでさえ判らない少数民族語でした。

未開発地区が大都市並みに発展するのは何時のことになるのでしょうか。

(左欄の続きです)

大都市の観光も結構です。だが、立ち遅れた地方の、貧しい人たちの生活ぶりを知ることも中国を理解するためには必要ではないでしょうか。機会があったら地方めぐりでもしてみませんか。

海外に住む中国人

星期三班的若山先生から時々「人民日報(海外版)」をいただいて、判らないながらも読ませていただいている。その中の「学中文」という欄に海外に住む中国人の子供たちの作文が載っていました。異国で生活し、苦勞して中国語を学びながらも幼い子供が立派な文章を書いているのに驚いています。参考までにその作文のいくつかをご紹介します。

我的哥哥

六岁 德国

我有一个哥哥,他叫龙龙,他15岁了。他有时对我很好,他给我买巧克力、生日礼物、圣诞礼物。他同我玩游戏。我们家有一只猫,我和哥哥都喜欢它。但是有时他也骂我,妈妈就说他。

雪人

十一岁 德国

我出生在中国的南方,四岁时来到德国。那时候正是冬天。有一天下雪了。我喊到:“妈妈,妈妈,快来看,那么多白的!是什么呀?”

妈妈回答:“这是雪。让我们一起做个雪人吧!”雪人?虽然我不知道这是什么,但是听上去很有趣!

然后我和妈妈一起堆了一个小雪人。小黑豆是眼睛,胡萝卜是鼻子。真是好看极了。我越看越喜欢。

堆好雪人后妈妈说“我要去做饭了。”她走了后我就想着:“那么好看的雪人,怎么能放在外面呢?把它拿进我房间里去吧!”一边想,一边做了。放好了雪人我就去玩了。过了一会儿,我又到我房间里,觉得雪人变小了。但是我也没有多想。

吃完了饭,妈妈说:“叶叶,我们再去看一看我们堆的雪人。”我领妈妈到了我房间看见雪人没有了。大声地叫起来:“我的雪人在哪里?一定是爸爸也觉得好看,所以偷走了!”

私のお兄ちゃん

6歳 ドイツ在住

私にはロンロンという15歳のお兄ちゃんがあります。私にとっても親切でチョコレートや誕生日・クリスマスなどにプレゼントをくれます。私と一緒に遊びます。家には猫がいて、私もお兄ちゃんも猫が大好きです。だけど時々お兄ちゃんが私をしかると、お母さんがすぐお兄ちゃんをしかります。

雪だるま

11歳 ドイツ在住

私は中国南部の生まれで4歳の時ドイツにきた。その時はちょうど冬だった。ある日雪が降った。私は大声でママ!早く来て見て、白いものが!あれなーにと叫んだ。ママはあれは雪よ、一緒に雪だるまを作しましょうかと答えた。雪だるま?それがなんだか知らないけれど聞いてみると面白そう。それからママと一緒に小さな雪だるまを作った。黒大豆を目玉にニンジンを鼻にした。本当にかっこいい。見れば見るほど好きになった。

雪だるまが出来上がって、ママがご飯を作りに行きますよと言って行ってから、こんなにかっこいい雪だるまを外に置きっぱなしにしていいたろうかと思った。そうだ私の部屋に持っていこう、と思いながら運びこむと私は遊びに出かけた。しばらくして部屋に戻ってみると雪だるまが小さくなっていただけでそれほど気にしなかった。ご飯を食べ終わって、ママが雪だるまをちょっと見に行きましようと言った。部屋に行くと雪だるまが無くなってしまっていた。私の雪だるまどこへ行ったの、きっとパパだっただけかっこいいと思ったのでこっそり持ってんたんだ、と大声で叫んだ。

妈妈听后大声地笑了起来,对我说:“傻孩子,你的雪人都变成水了。房间里温度高,会使雪人融化的。”

现在当我想到这段往事,觉得很好笑,自己当初那么“傻”。

我学习汉语

17岁 印度尼西亚

在世界上有很多语言,例如英语,汉语法语等。在我们现代的社会里,这些语言都很重要,尤其是汉语,所以我要努力学习。

我在15岁那年,就开始学习汉语。一开始学习汉语觉得很难,但是我不灰心,相信只要努力,一定会成功。因为我的时间有限,只有每个星期日才能去补习,老师教我写字,认字,相似汉字很多,所以一下子不能全学会。

一天一天的过去,我学习的中文功课一天比一天难,老师教我的这本书里有很多对话,所以比较容易。我学习汉语已经有两年了,这两年来,我学了很多。除了补习汉语,我也看中文电视,因为看电视能够增加知识。

现在我已经17岁了,认识的字也很多但是我还是需要努力学习。现在我可以跟人家讲话了。接受方面也比较容易了。

亲爱的刘老师:您好!

我叫鸣,今年8岁。我来自中国,现在住在美国波士顿。我喜欢中国饭,也喜欢美国饭。我天天去Shady Hill学校。我喜欢蓝色和绿色。我喜欢学中文。

此致

敬礼!

鸣

右側の訳文は意識してありますので、参考程度にしてご自身で翻訳してみてください。

ママはこれを聞いて大声で笑い出して私に言いました。お馬鹿さんね、雪だるまは水になっちゃったのよ、お部屋の中は暖かいでしょう、だから融けちゃったのですよ。

今、あの事を思うと当時はなにも知らなかったのだなあと可笑しくなります。

中国語を学ぶ

17歳 インドネシア

世界には英語や中国語フランス語のようにたくさん言葉がある。現代社会においてはみな大切であるが、とりわけ中国語が大切なので私は懸命に学んでいる。私は15歳の時から中国語を習い始めた。始めてみるととても難しいが、努力すればきっと成功すると信じて頑張っている。私は時間が余りないので、毎週日曜日に補習に行くだけだ。先生は字を書き字を覚えるのを教えてくれるが、似通った漢字が多いのでいっぺんには覚えられない。

一日一日が過ぎ、中国語の授業は日ごとに難しくなるけれど教科書には対話が多いので割合に易しい、中国語を習ってもうすでに2年になるがこの2年で多くのことを学んだ。テレビは知識を増やすことができるので補習の外に中国語のテレビを見ている。私ももう17歳だ。判る字も多いけれどまだまだ懸命に努力しなければならない。今では中国語で話せるようになった。聞き取るのも割合に易しくなってきた。

鸣:您好!

听您的老师刘晓红介绍说,您的名叫Sullivan。希望能坚持学中文。以后可以给我写长长的信,更详细地介绍自己。介绍您的所见所闻,好吗?

刘老师

あなたと私の間に「e」がある

表題のこの言葉「i (愛) がある」なら意味が通じますが、「e がある」では意味が判らないと思うあなた。

それは、あなた「u」と私「i」の間に「e」が隠れていると言うピンインの話なのです。

ピンインの綴りかたにはいくつかの規則があることは既にご存知のとおりですが、例えばguì (貴) wéi (为) というピンインを考えてみましょう。

声母(音節の頭にある子音)のある音節では母音のeが省略されることになっているので、本来gweiと表記されるべきところeが省かれてguiと表記されるのです。

だから読むときにはこの隠れたeを念頭に置く必要があるわけです。

wei(uei)は声母がないのでeが省略されず「ウエイ」のように発音されますが、guiの場合もeがあることを意識して「クイ」ではなく「クウエイ」となり、末尾のiは発音がやや「エ」に傾くので実際は

「クウエイ」のように発音されるとNHKのテキストに書いてありました。同じような例として、貴guì 岁suì 会huì 对duì 推tuī 虽suī 退tuì などがありますから末尾が「イ」でないことを意識しながら発音してみてもどうでしょうか。但し一声と二声では消えた「e」はやや微弱になるようです。

同じく複合母音のyouはiouの3重母音です。これも子音を伴うとoが省略されるので、秋qiū → qiú 球qiú → qiú 酒jiǔ → jiǔ 救jiù → jiù 九jiǔ → jiǔ のようになります。

この場合も一声と二声では消えた「o」はやや弱くなるようです。

したがって我喜欢喝啤酒と言う時も啤酒(ビール) pī jiǔ はピーチュウと言うよりはピーチョウと言ったほうが正しい発音に近いかも知れませんね。しかし外国語の発音をカナで表現するのは難しいのでやっぱり老師の発音を真似するのが最上の策と言えるでしょう。

哈尔滨人一年喝白酒3万吨

哈尔滨市是中国白酒消费量较大的城市,哈尔滨人2003年共喝掉3万吨白酒。尤其是45至52度的白酒的消费量最大。

哈尔滨人喜欢喝白酒,除了和当地的文化有密切关系外,主要是因为中国北方气候寒冷,许多人有喝酒暖胃的习惯。另外,还有不少男性认为,喝白酒是性格豪爽的表现,主人用白酒招待客人也是好客的表现。

喝白酒容易伤身体,因此许多人在饮酒前,吃解酒的药,希望能够减少对身体的伤害。

ハルピン市民白酒を年間に3万トン

ハルピン市は中国でも白酒の消費量が多い都市だ。(そう言えば忘年会のハルビンでも白酒が出ましたね)2003年ハルピン市民は合わせて3万トンの白酒を消費した。とりわけ度数45度から52度の白酒の消費量が最も多い。

ハルピン市民が白酒を好むのは当地の文化と密接な関係があることもあるが、主に中国北方地方は寒いので酒を飲んで胃を暖める習慣があるからだ。ほかに、白酒を飲むことは気性がさっぱりしていることの表れであり、白酒で客をもてなすことは、客好きであることを表していると考えられる男性も多い。

白酒を飲むと身体を悪くしやすいので、多くの人々が酒を飲む前に酔い覚まし薬を飲み、身体への害を減らすことができるようにと望んでいる

むずかしい「了」の用法

中国語で過去を表現するにはどうすればいいの? それは簡単さ「我吃了饭」のように動詞の後ろに了を付けなければいいんだよ。え!本当? それでいいの?

いやいや、中国語には了を用いて示される過去形は存在しないといわれています。過去・現在・未来などの時制は動詞によってではなく、時間を表す名詞や副詞、文の前後の関係などによって示されるのです。

我々がよく「了」は過去を表すのに用いられると勘違いするのは「了」の用法の一つに「完了」即ち既に終わったことを表すことがあるからだと思います。

動作や変化が完了したことを示す時には、動詞や形容詞または文末に了を置くのです。

例えば 他来了。(彼は来ました) 一見して過去形のようにも見えますが来るという動作が完了したことを表しています。

他已经走了。(彼は既に出かけました) も走という動作が完了したことを表しています。

それでは「私は食事をしました」はどう言えばいいのでしょうか。我吃了饭了。です。どうして文末に了が付くのでしょうか。

動詞「吃」が「飯」という宾语(目的語)をとる場合は動詞に了を付け、さらに文末に完了の語気を助ける助詞「了」を用いるのです。我吃了饭。では文が完結しないことになります。

同様に 他唱了歌了。(彼女は歌をうたった) 我看了电影了。(私は映画を見ました) となります。

上の二例のように目的語「歌・电影」が修飾語を伴っていない場合、動詞に了を付けずに文末にだけ了を用いることができます。他唱歌了。我看电影了。となり同様に 我吃饭了。我看小说了。でもいいわけです。

このような「了」は完了を示す助詞と語気助詞の二つの役割を兼ねているとみなすことができます。

それでは目的語が修飾語を伴っている場合はどうなるのでしょうか。例文を見てください。

她唱了一首歌。(彼女は一曲うたった) 我买了一本杂志。(私は一冊の雑誌を買った) 我看了中国电影。(私は中国映画を見た)

それぞれ目的語に「一首・一本・中国」という修飾語を伴っていますね。このような場合には動詞に「了」を付けるだけで文末には「了」を用いないのです。

なんだかややこしくて、頭がこんがらがってきましたね。もうひと頑張りして勉強しましょう。

例文 我已经学了两年汉语了。のように完了を表す「了」の付いた動詞「学」の後に「两年」という数量詞を伴う目的語「汉语」を用い、さらに文末に「了」を用いると、その意味に特別なニュアンスが加わって、「私は中国語を学び始めて既に2年になる」というような意味になります。

我学了两年汉语。とすると「私は2年間中国語を学んだ」と事実のみを言う表現になります。

それでは 我已经等了一个钟头了。はどんな意味になるのでしょうか。

「私はもう1時間も待った」いつまで待たせるんだ、もうこれ以上待てないぞ!という気持ちを含んでいます。

以上はあくまでも私の思い込みで書きましたので間違いやミスがありましたらどうぞ指摘をしてください。

「了」には更に多くの用法があります。これをきっかけにもう一歩突っ込んで学びましょう。

赤いもの

中国では「本命年」と言っただけでその年の干支生まれの人は一年間なにか「赤いものを」身に付けていると健康で良い一年を過ごすことができると信じられているそうです。だから12月になると赤いものが売られるようになるので、デパートや衣料品店には真っ赤なセーターや手袋、マフラーなどが所狭しと並べられます。

私も今年は年男、中国の風習にあやかってみようかと思いましたが、習慣の異なる日本ではちょっと勇気が必要になります。そこで、人の目につかないところなら出来そうなのでどなたか真っ赤なトランクスを売っている店を知りませんか？

老 儿 子

「老儿子」ってどういう意味だかご存知ですか。儿子は息子のことだから年をとった息子のことだろうと思うと大間違い。一番下の息子を老儿子と呼ぶのだそうです。

老と言う字は老人に代表されるように年をとった、老いたという意味があるのは勿論ですが、まさか小とか若い意味があるとは思いませんでした。

辞書で老の項を引いてみたらなんと19個もの違った意味が書いてありました。さらに老を頭に付けた語が270個もありました。

若くても老师だったり、年をとっていても老虎、老鼠、老鹰、老雕、老百姓、老玉米と呼ばれたり面白いですね。

暇があったら辞書を開いて「老」の項を読んでみませんか。

子

中国語には子供でもないのに「子」の字が付いた語の多いのに驚かされます。

一般的には接尾語として名詞、動詞、形容詞などの後ろに「子」を付けて名詞を作っているようです。

例えば、橘子 桌子 胡子 饺子 筷子 帽子 妻子 刀子 杯子 虫子 钉子 房子 茄子 镜子 旗子 梨子 本子 栗子 种子 などなど挙げればきりがありません。

昔の有名人名前にも付いています。孔子 老子 孙子 孟子 墨子 韩非子 荀子 庄子 などのように……

形容詞に付いたものでは、胖子 太っちょ、瘦子 やせぎす、傻子 ばか者、麻子 あばた面、瞎子 盲人、秃子 はげ頭などがあります。

動詞に付いたものでは、剪子 はさみ 梳子 くし、钳子 ペンチ、拍子 ラケット、骗子 詐欺師、推子 バリカンなどが挙げられます。

名詞化されたものを見るとその殆どが「子」を付けなくても意味が判るものばかりですね。

どうも中国人は一字だけで表現するのがお嫌いようです。

例えば、星星、月亮、花儿、天空、尾巴、耳朵、眼睛、木头、春天、哥哥、弟弟、妹妹などのように一字だけでも十分意味の通じるものをわざわざ二字にして表現しています。

自 行 车

中国といえば自転車王国のイメージが強く、上下班時間帯に遭遇するとそのものすごさにびっくりさせられます。

ところが年々その台数が大幅に減少しているそうです。

例えば、北京では10年前には百人中60人が自転車で出勤していたのが、今ではたったの20人。外出時の交通手段の選択肢が増え、市民が豊かになってきたからです。タクシーが街に溢れ、地下鉄、路面電車などが利便性を高め自家用車が増加しているからです。北京市だけで実に128万台の自家用車が走っているとされています。

朝夕の自転車ラッシュが自動車による交通渋滞にとって代わる日がもう目前に迫っているような気がします。